

平成30年1月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年9月13日

上場会社名 株式会社エニグモ

上場取引所 東

コード番号 3665

URL <http://www.enigmo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 最高経営責任者

(氏名) 須田 将啓

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレートオペレーション本部長

(氏名) 金田 洋一

TEL (03) 6894-3665

四半期報告書提出予定日 平成29年9月13日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年1月期第2四半期の連結業績 (平成29年2月1日～平成29年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年1月期第2四半期	2,058	7.8	682	△16.9	671	△18.5	454	△17.3
29年1月期第2四半期	1,909	59.4	821	—	824	—	549	—

(注) 包括利益 30年1月期第2四半期 447 百万円 (△9.5%) 29年1月期第2四半期 494 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年1月期第2四半期	21.82	—
29年1月期第2四半期	26.39	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年1月期第2四半期	4,789	3,639	76.0
29年1月期	5,080	3,194	62.9

(参考) 自己資本 30年1月期第2四半期 3,639 百万円 29年1月期 3,194 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年1月期	—	0.00	—	0.00	0.00
30年1月期	—	0.00	—	—	—
30年1月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年1月期の連結業績予想 (平成29年2月1日～平成30年1月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,418	6.5	1,423	△19.5	1,426	△19.1	539	△52.8	25.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年1月期2Q	21,321,000株	29年1月期	21,321,000株
② 期末自己株式数	500,000株	29年1月期	500,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	21,321,000株	29年1月期2Q	21,321,000株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「世界が変わる流れをつくる。」というミッションの下、インターネットを通じて、一般消費者が持つ個々の才能をネットワークし、今まで存在しなかった新しい価値を創造し、世界をよりよく変えることを目的として、ソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA（バイマ）」および女子向けメディア「4MEEE（フォーミー）」並びに「4yuuu!（フォーユー）」を中心とした事業を展開しております。

当第2四半期連結累計期間（平成29年2月1日～平成29年7月31日）における我が国経済は、日銀の金融緩和継続や政府の景気対策等により企業収益や雇用は比較的安定していたものの、海外の政治情勢の不安定さに起因する為替変動や、中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化など、外部環境の不透明さから、依然として先行きの見通しが非常に難しい状況が続いております。

国内の個人消費は、所得の伸び悩みによる生活防衛意識の高まりから引き続き選別消費が続いているなか、ファッションEC市場におきましては、小売店やブランド等の事業者側によるオムニチャネル化やファッション系スマートフォンアプリの増加等を背景に、堅調に拡大を続けております。

このような環境のなか、当社グループは、引き続きWEBマーケティングを中心とした「BUYMA」における「会員獲得施策」、「アクティブ率向上施策」および「ARPU維持施策」等を推進するとともに、SNSの活用等によるアプリ訴求施策及び、新規決済サービスの導入を始めとする各種周辺サービス・機能等の運用強化を加速し、一層手軽にBUYMAでショッピングをお楽しみいただけるよう積極的にサービスの拡充を進めてきております。

一方で、メディア事業につきましては、当第2四半期は回復基調では推移しているものの、当第1四半期における広告出稿数の一時的な減少の影響で、当第2四半期累計期間における売上及び利益は前年同累計期間を下回る水準となりました。

また、前第1四半期末を基準として連結子会社となったエニグモ코리아社はサービス拡大基調で推移しておりますが、当第2四半期末時点では37,308千円の営業損失となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は2,058,546千円（前年同四半期比7.8%増）と拡大した一方で、営業利益は682,924千円（前年同四半期比16.9%減）、経常利益は671,999千円（前年同四半期比18.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益454,252千円（前年同四半期比17.3%減）となりました。

①ソーシャルコマース事業

ソーシャルコマース事業におきましては、個人がパーソナルショッパー（商品の売り手）となって世界中の話題のアイテムを紹介・出品、販売ができるソーシャル・ショッピング・サイト「BUYMA（バイマ）」を中心とした運営をおこなっております。当第2四半期累計期間におきましては、引き続き新規ユーザーおよび既存会員のアクティブ化およびコンバージョン向上のため、多数のセールへの取り組みに加え、オウンドメディアによる購買意欲の喚起、SNSを活用したアプリ訴求のほか、他社サービスとのID連携開始、各携帯キャリア決済及び翌月払い決済の導入等各サービス・機能の拡充を図る各種施策を展開しました。

また、パーソナルショッパー（出品者）との密な連携による出品数の拡充、社内インフラの強化も引き続き進めてきております。

以上の結果、会員数は4,452,434人（前年同四半期比27.7%増）、商品総取扱高は16,673百万円（前年同四半期比12.4%増）、売上高は1,929,017千円（前年同四半期比10.8%増）と順調に拡大しました。

一方で、エンジニアを始めとする社内体制強化の為に人材獲得投資及び、組織拡大による本社移転に伴う戦略投資を先行しておりますこと、また、前第1四半期末を基準として連結子会社となったエニグモ코리아社が運営する「BUYMA KOREA（バイマ코리아）」においてサービスは拡大基調で推移しているものの、当第1四半期末時点では37,308千円の営業損失となりました影響により、セグメント利益は721,597千円（前年同四半期比8.5%減）となりました。

②メディア事業

メディア事業におきましては、女子向けメディア「4MEEE」および主婦・ママ向けメディア「4yuuu!」において、当第2四半期は広告出稿が回復基調で推移しましたが、当第1四半期の広告出稿数の一時的な減少の影響で、広告収入は前年同累計期間を下回りました。

以上の結果、売上高は129,528千円（前年同四半期比23.8%減）、セグメント損失は38,973千円（前年同四半期は33,324千円の利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度より291,055千円減少し、4,789,304千円となりました。主な内訳は、現金及び預金3,252,362千円であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度より735,671千円減少し、1,149,767千円となりました。主な内訳は、預り金688,986千円であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度より444,616千円増加し、3,639,537千円となりました。主な内訳は、資本金381,903千円、資本剰余金391,473千円、利益剰余金3,281,680千円であります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は、前連結会計年度末より571,185千円減少し、3,252,362千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により使用した資金は522,685千円(前年同期間は1,135,184千円の収入)となりました。

この主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益690,664千円等によるものであり、また、減少要因は、法人税等の支払い603,158千円、預り金の減少256,969千円及び前渡金の減少238,650千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は49,676千円(前年同期間は326,278千円の収入)となりました。

これは有形固定資産の取得による支出46,481千円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の増減はありません(前年同期も同様)。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年9月13日に開示した「連結業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ」の通り、連結業績予想における売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益、1株当たり当期純利益につきましては、修正を行っております。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,823,547	3,252,362
売掛金	154,089	182,879
前渡金	350,375	589,025
繰延税金資産	55,861	23,582
その他	66,299	70,200
貸倒引当金	△756	△1,512
流動資産合計	4,449,417	4,116,539
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	8,065	58,079
工具、器具及び備品（純額）	17,249	23,548
有形固定資産合計	25,314	81,627
無形固定資産		
のれん	452,487	435,412
その他	27,671	24,692
無形固定資産合計	480,159	460,105
投資その他の資産		
関係会社株式	17,820	25,372
繰延税金資産	13,934	10,208
その他	93,713	95,451
投資その他の資産合計	125,468	131,031
固定資産合計	630,942	672,764
資産合計	5,080,360	4,789,304
負債の部		
流動負債		
未払金	145,975	128,182
未払法人税等	622,632	211,071
未払消費税等	121,015	18,586
預り金	940,135	688,986
ポイント引当金	36,025	39,362
その他	19,654	48,237
流動負債合計	1,885,439	1,134,425
固定負債		
資産除去債務	—	15,341
固定負債合計	—	15,341
負債合計	1,885,439	1,149,767

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	381,903	381,903
資本剰余金	391,474	391,473
利益剰余金	2,830,286	3,281,680
自己株式	△415,380	△415,380
株主資本合計	3,188,283	3,639,677
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	5,356	△609
為替換算調整勘定	978	167
その他の包括利益累計額合計	6,335	△441
新株予約権	301	301
純資産合計	3,194,920	3,639,537
負債純資産合計	5,080,360	4,789,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
売上高	1,909,899	2,058,546
売上原価	300,537	355,456
売上総利益	1,609,361	1,703,089
販売費及び一般管理費	787,376	1,020,165
営業利益	821,985	682,924
営業外収益		
受取利息	474	135
為替差益	753	1,670
還付加算金	3,151	—
その他	24	202
営業外収益合計	4,404	2,008
営業外費用		
持分法による投資損失	575	12,910
その他	852	22
営業外費用合計	1,427	12,933
経常利益	824,961	671,999
特別利益		
新株予約権戻入益	8	—
持分変動利益	28,294	20,462
その他	—	13
特別利益合計	28,302	20,476
特別損失		
減損損失	—	112
貸倒引当金繰入額	32,404	—
本社移転費用	—	1,685
その他	—	13
特別損失合計	32,404	1,810
税金等調整前四半期純利益	820,860	690,664
法人税、住民税及び事業税	240,890	197,550
法人税等調整額	30,458	38,862
法人税等合計	271,349	236,412
四半期純利益	549,510	454,252
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	549,510	454,252

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益	549,510	454,252
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△47,864	△5,965
為替換算調整勘定	△6,996	△811
その他の包括利益合計	△54,861	△6,777
四半期包括利益	494,649	447,475
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494,649	447,475
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年2月1日 至平成28年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年2月1日 至平成29年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	820,860	690,664
減価償却費	9,208	9,594
のれん償却額	17,075	17,075
減損損失	—	112
貸倒引当金の増減額(△は減少)	32,404	756
ポイント引当金の増減額(△は減少)	4,569	3,337
受取利息及び受取配当金	△474	△135
為替差損益(△は益)	820	218
新株予約権戻入益	△8	—
持分法による投資損益(△は益)	575	12,910
持分変動損益(△は益)	△28,294	△20,462
売上債権の増減額(△は増加)	△18,402	△28,790
未払金の増減額(△は減少)	△96,767	△17,553
預り金の増減額(△は減少)	△82,935	△256,969
その他	308,219	△330,421
小計	966,850	80,336
利息及び配当金の受取額	474	135
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	167,859	△603,158
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,135,184	△522,685
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300,000	—
有形固定資産の取得による支出	△498	△46,481
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	27,351	—
関係会社株式の取得による支出	△575	—
その他	—	△3,194
投資活動によるキャッシュ・フロー	326,278	△49,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,042	1,176
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,452,420	△571,185
現金及び現金同等物の期首残高	1,684,469	3,823,547
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,136,889	3,252,362

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自平成28年2月1日 至 平成28年7月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年2月1日 至 平成29年7月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の
末日後となるもの

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成28年2月1日至平成28年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソーシャル コマース事業	メディア事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1,740,007	169,892	1,909,899	—	1,909,899
セグメント間の内部売上高又は振替高	416	—	416	△416	—
計	1,740,423	169,892	1,910,315	△416	1,909,899
セグメント利益	788,360	33,324	821,685	300	821,985

(注) 1. セグメント利益の調整額300千円は、セグメント間取引消去300千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成29年2月1日至平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	ソーシャル コマース事業	メディア事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
外部顧客への売上高	1,929,017	129,528	2,058,546	—	2,058,546
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	0	0	△0	—
計	1,929,017	129,528	2,058,546	△0	2,058,546
セグメント利益又は損失(△)	721,597	△38,973	682,624	300	682,924

(注) 1. セグメント利益の調整額300千円は、セグメント間取引消去300千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。